

Smile Asia Safety Project Start !

対象国: ベトナム、タイ(今後追加予定あり)

中災防は、アジアの日系企業で働く方々の安全衛生、そして笑顔を応援します。



✦ 海外進出日系企業のベトナムやタイにおける拠点を対象に日本の労働安全衛生分野のノウハウや経験を伝え、共に考えることで現地の安全衛生意識の高揚と労働災害の防止を目指します。

✦ 日本(中災防)と現地拠点をオンライン(Zoom)で繋ぎ、①「KYT(危険予知訓練)」、②「リスクアセスメント」、③「健康づくり」について、その基本的な知識や取組方法を伝えるとともに、④「現場フォローアップ研修」として、専門家が参加者の現場や作業の様子を写した動画や写真等にもとづき、安全衛生管理上の課題等について、助言・指導を行います(裏面参照)。選択する①～④の科目により、費用や時間等が異なりますので、詳しくは上記QRコードよりホームページをご確認下さい。



本プロジェクトにおける各科目の主な内容を解説します。自社の活動状況に応じて下記の①～④より1～4科目を選択して下さい。なお、(2)「現場フォローアップ研修」(④現場作業に関する専門家アドバイス)の実施に当たっては、ある程度、KYTやリスクアセスメント等を全社的に実施している、あるいはこれから実施することが前提となります。

(1)「安全衛生基礎研修」(①～③より選択可)

日本の産業現場で実践されている①KYT(危険予知訓練)、②リスクアセスメント、③健康づくりの取組みをオンラインで伝え、海外進出日系企業の安全衛生担当者等の能力向上や同従業員の安全衛生意識の向上を目指します。

科目	時間	目的・内容(例)
①【講義・演習】 KYT(危険予知訓練) 	3時間 (逐次通訳)	(研修の目的) 危険予知訓練の実践手法(基本手法及び活用手法)等について理解する。 (研修のポイント) 指差し呼称の実践と効果/KYTの目指すもの/KYTの具体的な進め方等 (演習) イラストシートを用いたKYTの実践
②【講義・演習】 リスクアセスメント 	3時間 (逐次通訳)	(研修の目的) リスクアセスメントの手法について理解する。 (研修のポイント) リスクアセスメントの基本的な手順/用語の定義(ハザードとリスク)/ハザード(危険源)とは/ハザード(危険源)の特定/ハザードの分類/「ハザード」「危険状態」「危険事象」の例示/リスクの大きさを決定する/リスク低減措置の考え方/リスクアセスメント実施のポイント等 (演習) ハザード(危険源)の特定、リスク低減措置
③【講義・演習】 健康づくり 	2時間 (逐次通訳)	(研修の目的) 企業の健康づくりの状況及び活動事例等について学ぶ。 (研修のポイント) 働く人の心とからだの健康づくり/転倒災害防止と健康安全/転倒災害のリスク要因とその対策/腰痛災害の予防と対策/身体機能の低下による災害 (演習) これだけ体操、立ち上がりテスト、「平衡性」の評価、「敏捷性」の評価等

(令和4年8月実施内容一部修正)

(2)「現場フォローアップ研修」(選択可)

科目	時間	目的・内容(例)
④ 現場作業に関する 専門家アドバイス  	3時間 (逐次通訳)	現場における安全衛生管理上の課題等について、参加事業場から提供される現場や作業の様子を写した動画や写真等にもとづき、オンラインで専門家が助言・指導を行い、現場の安全衛生活動の活性化を目指します。実施に際しては本社担当者の同席も可能とし、担当者との意見交換の時間も含めるものとします。 全体の時間の目安について(全体で3時間程度) ① 参加事業場の事業概要・安全衛生状況等の確認(20分程度) ② 現場の状況説明(30分程度) ③ 専門家による助言(120分程度) ④ 全体総括(5分) ⑤ 質疑応答(5分) ⑥ 簡易報告書の提出 現場の安全衛生活動の状況や課題等を把握し、今後の現地拠点の安全衛生活動をより充実させるためにも、当日は現地拠点の安全衛生担当者のみならず、工場長等の管理責任者、本社における現地拠点の統括管理者等の参加が望まれます。